

研修親睦旅行・焼津黒潮温泉 平成30年9月15日(土)～16日(日)

学んで飲んで歌った、楽しい2日間



INDEX

研修親睦旅行	1～2
親睦委員会報告	2
門山宏哲の国政報告	2
会員企業訪問	3
例会委員会報告	4
スケジュール・編集後記	4



今年の研修親睦旅行は、雨模様の中を例年のようにバスに乗り、焼津への旅となりました。

渋滞で遅れたことと雨と霧も出ていたため、箱根のロープウェイを利用する予定を割愛し、風雨の中を直接、大涌谷に行きました。

箱根の名物・黒玉子を買ひ、芦ノ湖の北側に位置する湖尻で昼食。そうこうしているうちに雨も止んだので、箱根関所と資料館を見学。このあと目的地の焼津黒潮温泉に向かい、早々に焼津のホテルに到着しました。

私たちが利用したホテルアンピア松風閣は、駿河湾を望む崖の上に建ち、景観は抜群でした。接客は洗練された印象で、全般に気持ち良いホテルでした。

会員17名、ビジター5名の22名による宴会は、和気藹々とした中で美味しい海の幸を堪能しました。

賑やかに歓談したあとは、みんなでカラオケ。とても盛り上がりました。



あっという間に時間が経過して宴会は終了。名残り惜しい人が部屋での二次会へと集まりました。

その部屋で休む方には迷惑だったでしょうが、ほとんどの人が集まりました。持ち込みのお酒でいい雰囲気の良い時を過ごしました。

翌朝は、雨が上がったものの曇り空、思い思いに朝食を食べたあと、帰路のバスに乗りました。

清水のおさかなセンターでお土産を買い、由比で昼食と海沿いの道をひた走り帰りましたが、バスの後方では止めどなく宴会が続きました、

宿への持ち込みが多かったとはいえ、用意したビールがな

くなるほど大いに飲み歌った旅行でした。

天候に恵まれず、2日間とも富士山が見られなかったのが少々残念でしたが、ガイドさんの献身的な奮闘ぶりが印象に残りました。

箱根資料館などで少しばかり学び、おおむね飲んで歌った楽しい2日間でした。
(阿佐幸雄 記)

親睦委員会 幕張ビーチ花火フェスタ2018鑑賞 平成30年7月27日(金)

於：幕張海浜公園

幕張ビーチ花火フェスタ2018鑑賞

平成30年7月27日 19:30～20:30
海浜幕張公園にて実施。

研修親睦旅行に続いて、親睦委員会主催の恒例行事、幕張ビーチで行われた、花火フェスタ2018鑑賞のご報告をいたします。

花火大会は、7月27日の金曜日、19時30分から20時30分まで行われました。

台風による、にわか雨が心配されましたが、天気もち、今年は23,000発の盛大な花火を一堂堪能しました。

参加者が昨年と比べると若干少なかったのですが、ご家族が多く参加され、親交を深めることができました。

ご参加いただきました皆様ありがとうございました。
参加者は会員10名、ビジター 16名でした。



門山宏哲の国政報告

法務委員会で民法改正を実現

—— 配偶者居住権、特別寄与料制度など

平成30年の通常国会(第196国会)は、1月22日に召集され、会期を約1か月間延長した上で、7月22日に会期末を迎え閉会いたしました。

今国会では、先般の衆議院議員選挙においてお約束した公約をしっかりと盛り込んだ平成30年度予算を早期に成立・実施することができました。

財政健全化にも目配りしながら、幼児教育の段階的無償化、保育の受け皿拡大および保育士の処遇改善、給付型奨学金の拡充等、「人への投資」の拡充を行いました。

また、持続的な賃金上昇とデフレからの脱却につなげるため、生産性向上のための施策を推進しています。

特に、多様な働き方が選択できる社会の実現のため「働き方改革関連法」として労働基準法等を改正し、時間外労働の上限を原則〈月45時間・年360時間〉に規制し、罰則規定を設けることや、高度専門業務で高収入の労働者に限定した高度プロフェッショナル制度の創設などを盛り込みました。

私の所属する法務委員会では、成人年齢を18歳に引き

下げ、また配偶者居住権、特別寄与料制度の創設といった民法改正を実現させることができました。



ご存知のように、自民党内では9月20日に6年ぶりの総裁選挙が実施されました。自民党所属の国会議員が一人1票(計405票)、加えて自民党員の皆様からの投票を国会議員票と同数の405票に換算して、その合計で争われました。

結果、安倍晋三候補が553票(国会議員票329、党員票224)、石破茂候補が254票(国会議員票73、党員票181)となり、安倍晋三氏が総裁に選出されました。

引き続き安倍晋三総裁の下で、国のため党内一致協力して、新しい日本を作るために微力ながら活動を続けてまいります。
(衆議院議員・法務委員会所属)

第28回 (有)みすみ板金塗装工業

会長は猛烈馬力、次男社長はクールに承継

——最大の強みは「みすみなら間違いない」の顧客信頼

経営環境が厳しい中で

取材クルーで(有)みすみ板金塗装の事業所内に入ると、少し驚いた。広い敷地に、整備や板金待ちの車だろうか、ざっと100台くらいと見られる乗用車やトラックが、所狭しに置かれている。事務所に隣接する整備・板金塗装工場には、10数人の作業員が忙しく働いている。

「この会社、景気がいいんだな」というのが、私たちの第一印象だった。

初めに対応してくれた白井晴樹社長に「ずいぶん活気があっていいですね」と挨拶代わりに質問をぶつけてみると、意外な答えが返ってきた。

「いえいえ、本当は大変なのです。新しい事業展開をしていかないとやっていけません。活気があるように見えるのは、意識的にそう見せているからです」

なるほど、事業所内が閑散としていたら「お客が減っているのかな。みすみさん、大丈夫だろうか…」と、ネガティブな印象を抱き、Uターンしてしまうお客さんも出てくるかもしれない。

ここ数年、独立系の自動車整備・修理工場は仕事量の減少に苦しむ一方だと晴樹社長は言う。原因は、自動車ディーラーが皆、整備や修理等の事業について内製化に舵を切ったからである。

しかし、晴樹社長はこうも言う。

「国内で今走っている車が全部、ディーラーで車検ができるか、あるいは板金塗装などができるかといえば、そんなことはありません。大事なことは、お客さまの信頼を失わないことだと思います。その点は、自信があります。みすみに出せば間違いない、という評判もあるので。創業から50年の積み重ねで築いた一番大きな資産だと思います。それを大事にしていこうと思います」

しかし、市場環境は厳しくなる一方で、20年、30年前の最盛期と比べると会社の売上げは半分に減っている。その大きな流れを止めることはできないが、少しでも挽回していく道を見つけようと、晴樹社長は中古車販売に踏み切った。

幸い中古車を置ける広い土地はあった。創業者である父親の白井友雄会長が戦後から高度成長期にかけて購入していた土地の一部である。

現在86歳の会長は、多くの創業者がそうであったように、モノがなく食べることに事欠いた戦前・戦後の時代を生き抜き、強烈な馬力で会社を興し、大きく育てた成功者の一人である。



ある。

現在も元気で、社長と共に代表権を持っているが、実質的には引退している状態だと晴樹社長は言う。

その会長が取材の途中で顔を出してくれた。身体も声もとても元気そうで、創業者らしい迫力を感じる。話し方だけではなく話の内容にも、桁違いの凄みがあり、昔の武勇伝などをたっぷり聞かせてくれた。

父の事業を支えた車好きの三兄弟

武勇伝の中で私たちが唖然としたのは、次の話である。

「戦後は食べるためにいろいろなことをしました。千葉日産に勤めていたこともあります。ところが、給料がわずか7500円、子供もいたからとてもそれじゃ食っていけない。そこで、日産に勤めながら板金屋を始めました。当時は板金屋なんてほとんどなかったので、千葉日産で会った大網の自動車屋に話したら、『そうか板金やってくれるの？ だったら頼むよ』と喜ばれたのです。

日産に勤めながらだから、仕事は夜か朝。朝の3時に起きて自転車で大網に向かい、板金をして帰ると、すぐに千葉日産に出勤し、仕事が終わったらまた大網に向かう。そんな生活をしていました。大網の自動車屋が客を次々に紹介してくれるものだから、大網や東金周辺で車を使っている人みんなに頼まれましたよ。私の親からは『身体壊すぞ。子供たちと遊ぶ時間くらいつくってやったらどうなんだ』と、手紙で叱られたりしていましたね。

そんな忠告もあり、千葉日産を辞めて板金塗装会社を興したのです。大網などで稼いだお金もあったので、土地を買ってからの話です。自分で工場を持つからには借金ではだめ、自分の金じゃなきゃと思っていましたからね」

驚嘆するエピソードはほかにも沢山あり、延々と続きそうだったので、失礼ながら途中で晴樹社長への質問に切り替え、話は前社長のことや現在の事業に戻った。

前社長とは兄の白井義夫さん。3年前に慈善事業の伐採作業中に脚立から落ち、運悪く急逝してしまった。

兄弟は3人、長男・義夫さんの跡を継いだのが次男の晴樹社長で、三男も最初から会社を手伝っている。皆、大の自動車好きである。

「兄弟3人で父の会社を支えていたのです。親父はそうは思っていないようですが…ハハハ」

どうやら世代間ギャップは大きいようだが、残った次男・三男と会長との信頼感は厚いものがあると感じた。

(取材・文/奥平)

例会委員会報告

7月例会 平成30年7月26日(木)

於：鯨割烹みどり

7月の例会は、千葉市を中心に活動されている落語研究会「縁」の千葉家李桜、千葉家光旦のお二人をお招きしました。

落語は「真田小僧」
「時そば」で、皆様の暑
気払い、ご機嫌を伺
いました。

参加者は、会員27
名、ビジター0名、ふ
くろう募金は3572円
でした。



8月例会 平成30年8月23日(木)

於：鯨割烹みどり

8月の例会は、産方会員に
よる「笑顔の花を咲かせたい」
と題したお話を伺いました。
千葉県八街で生まれ育ち、
お兄さんの商売の手伝いでの
ご苦労話や、千葉三越での展
開や奥様との出会い、現在の
生花店経営に至る
までのお話をして
頂きました。

参加者は、会員
22名、ビジター0
名、ふくろう募金
6514円でした。



9月例会 平成30年9月27日(木)

於：鯨割烹みどり

9月例会は、山本会員によ
る「経営者としての半生をふり
返って」(事業承継の完結を迎え
て)と題して、経営する株式会
社センエーの父による創業から
現在の社員90名に至るまでの
沿革。そしてご子息である現代
表への事業承継への道のりをお話頂きました。

参加者は、会員27名、ビジター3名。ふくろう募金6705円
でした。



(7月、8月、9月共、吉田光一例会委員長)

10～12月のスケジュール

10/3(水)	役員会 18時00分開会 ホテル菜の花
10/25(木)	夕食例会 18時30分開会 鯨割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円
11/7(水)	役員会 18時00分開会 ホテル菜の花
11/17(土)	第1回経営研修会 受付16時 開会16時30分 場 所：千葉市生涯学習センター 講演者：千葉神社 禰宜 山本陽徳氏 テーマ「千葉の街の成り立ちと再開発に向けて」 参加費 無料 懇親会 会員5,000円 ビジター 7,000円
11/22(木)	夕食例会 18時30分開会 鯨割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円
12/5(水)	役員会 18時00分開会 ホテル菜の花
12/20(木)	夕食例会 18時30分開会 鯨割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円